

<<東北魂>>を鼓舞する  
電子新聞

発行所 株式会社遊無有

〒207-0005  
東京都東大和市高木3-315-1-2-2  
http://www.yumuyu.com/  
e-mail:yumuyu@wj8.so-net.ne.jp

# 東北復興

Rising up, TOHOKU!

2016年(平成28年)7月16日 土曜日

無料

## 第50号

毎月発行

創刊2016年(平成28年)7月16日 土曜日

### 「盲人たちの特殊技能と東北」 〜明治思想史のかけら・完〜

東義大学校人文大学助教授 鈴木啓孝氏寄稿

前号、前々号と、近世から近代への移行期における「日本人意識」の形成と、その後で進行した「過去の記憶の忘却」について、東北地方の事例を中心に紹介してきました。今号は、このテーマでお届けする最後の文章になります。

「我々はみな同じ日本人だ」という画一的な意識の共有は、近代以前において不可能でした。なぜなら、各藩の併存と士農工商ということばに表される地域的階層的な断絶があり、人々は自分が所属している地域と階層以外の交流を著しく制限されていたからです。近代以前の日本社会では、「俺(たち)とお前(たち)」は明らかに別種の間人間的な関係性を持っていた。

#### 「勾当」とは？

勾当(こうとう)——地元が仙台の方ならば、あるいは仙台上に一時居住したことがある方ならば、おそらくは誰でも耳にしたことがある有名な公園でしょう。宮城県庁に隣接し、市の中心部にある緑地スポットは、定禅寺通りとともに「杜の都・仙台」を象徴する都市景観を形成し、仙台上子にはなじみ深い場所です。

鈴木 啓孝  
(すずき・ひろたか)

東義大学校(韓国・釜山市)人文大学日語日文学科助教授。東北大学文学部、東北大学大学院文学研究科卒業。博士(文学)。専門は近代日本思想史。



ところで、この公園の名前が何に由来しているのかわかっているという方は、仙台市民でも意外に少ないかもしれません。南光台や茂庭台などと同様に、「台」が「高台」を意味していることはわかるとしても、それは「勾当」とは、一体何なのでしょう。答えは、花村、勾当、政治という人物に由来している、です。仙台藩祖・伊達

政宗が寵愛した盲目の芸者の屋敷が付近にあったため、この地名が生まれました。ある日、政宗が偶然に見かけた盲人に対して「お前は何者だ？」と問いかけたところ、「名に一字 ちがひありとて ことごとし 君は政宗 われは政一」という狂歌が返ってきた。その機知が気に入られた屋敷が与えられたという伝説が今に残ります(菊地勝之助「仙台地名考」)。隻眼で有名な伊達政宗だからこそ、自分の境遇にも通じる盲人の苦境をおもひぼかることができたのだらうという推測もあるようです。

#### 盲人という異能者

盲人の保護——これは、障がい者に対する単なる慈善事業ではありません。彼らのコミュニティ内部に伝わる伝統芸能を保全し、それを各々の儀礼で用いるために必要とされました。そのような伝統芸能のうち最も重要な視覚化されたものが、「平曲」すなわち盲目の琵琶法師たちが語る『平家物語』とその音曲です。全部で二〇〇句、すべてを語り終えるには、およそ丸二日間ともいわれる長大な時間が必要となる「平曲」は、現代の我々の感覚では驚くべきことに、盲人たちの身体によってすべてが体現されました。『平家物語』の台詞の全部は彼ら盲人たちの頭の中にインプットされており、歴代の師匠からその弟子へと、脈々と受け継がれたのです。文字化された台本は補助的なものに過ぎませんでした。

そのような「平曲」のマスターが、盲人の最高位にすわる「検校」たちです。彼らは盲人の共同体内部でのみならず、広く社会的な尊敬を集めることができたようです。盲人と「平曲」との深い関わりについては、小泉八雲の『怪談』が取材した「耳なし芳一」の逸話が最も有名でしょう。近代以前の日本では、盲人には、常人にない霊力が備わっていると広く信じられました。それは、死者たちの「口寄せ」の能力です。いくさに破れ、無念の死と一族の滅亡を強いられた平家の怨霊は、しばしば祟りを引き起こし、生き残った人間、特に現世で権力を握る人々の脅威となりました。崇りを鎮めるには、また、あの世に行ってしまう彼らの声を聞かねばなりません。その際、必要とされたのが盲人たちの身体です。欠損のある彼らの身体を通じて、死者たちの声はこの世での再生が可能となりました。

武士の世の誕生時にあった平家の滅亡という悲劇を語り継ぐことは、歴代の武家政権にとつて義務でした。政権発生の裏で散っていった死者たちの怨念の声を傾け、その供養と慰めるべきものと考えられたからです。「平曲」は大衆相手の芸能としてではなく、徳川將軍家の式楽として存在しました(兵藤裕己『物語・オーラリーティ・共同体』)。盲人によつて語られる「平曲」は慣習として定着し、武家政権が存続したあいだ、幕末期にまで及ぶ数百年間の伝統となったのです。

典型的な伝統文化とは、本来、このようなものではないとされています。現代の我々の感覚では極めて不思議なことかもしれませんが、『平家物語』は文字によつて成立した小説のような読み物ではありません。あくまでも「声の文化」でした。なぜならば、盲人という、原來的に「文字の文化」の共有が不可能な人々によつて生みだされ、保全された物語だからです。「文字の文化」を共有できないという欠損・特殊性を引き替えて、彼らの肉声には死者の魂が宿りました。そういう特殊技能を保存してゆくためには、それを受け継ぐ資格を有する盲人たちだけの閉じられた社会、彼らだけの共同体の丸ごとの維持が不可欠でした。人間は平等ではなかったのです。

そして、常人の社会が各種階層で細かく分裂していたのと同様、盲人社会の内にも細かな階級差がありました。盲人の誰もが「平曲」をマスターして、「検校」や「別当」になれたわけではありません。特殊技能によつて権力による庇護を受けることができたのは、極少数の天才的な盲人に限られます。「座頭」にすらなれない盲人たちの多くは、苦悩のうちに生まれ、社会の余計者として差別を受け、各地を流浪し、そして死んでいきました。盲人も平等ではなかったのです。さらには、近代以前は、聴覚障がいや四肢の欠損など、その他のさまざまな障

がいごとの互助組織が併存していたのではありません。当道座への加入は盲人のみに許されました。それが慈善事業などではなく、社会的機能のための存在だったからでしょう。障がい者もまた、平等ではなかったのです。

#### 東北に残る伝統

そんな当道座は、国家と社会の近代化によつて崩壊します。これを決定づけたのは、明治新政府が明治四年十二月に下した「盲官廃止令」でした。盲人の共同体を廃止した政府の基本方針は、①封建的身分制度の全廃(直前の十月、通称「穢多・非人廃止令」も発布されています)、②身分による職業制限の撤廃、③営業の自由化、④親族扶養の原則化でした。要するに、平等な国民による近代国家の形成と、自由な資本主義的諸関係の創出という目的があったのです(加藤康昭『日本盲人社会史研究』)。

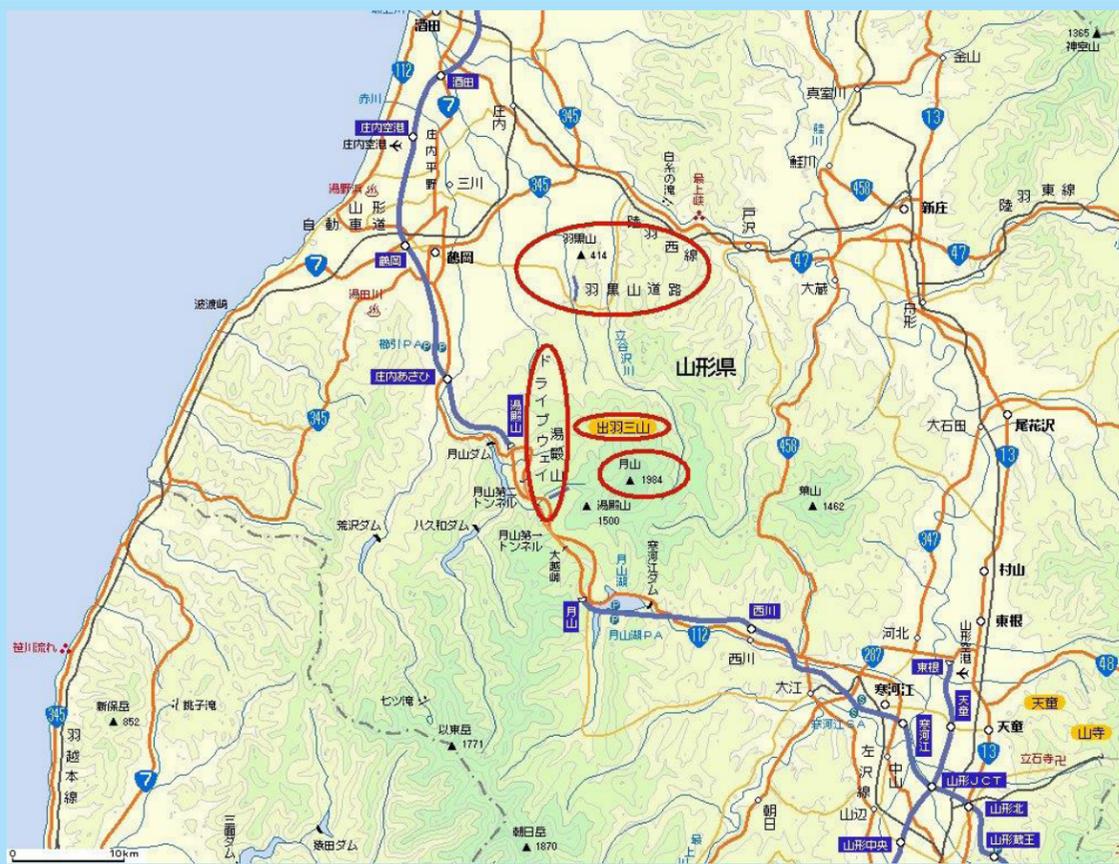
こうみれば、明治政府が盲人の特権的立場を認めるわけにはいかなかったのは理論的背景があり、近代化の流れの中では避けられない、必然の処置だったことがわかります。武家政権が崩壊し、天皇の名の下でいつしか「俺(たち)もお前(たち)」も同じ日本人じやないか」という感覚が通念化していった一方、「俺(たち)とお前(たち)」は

別種の間人間的なのだ」という感覚の方は差別的で不適切であると退けられ、各集団、各個人の内心ではどうあれ、公的には認められないものになりました。

他方、盲人たちは自立と自活の道を失い、一律に、家庭と社会の庇護を受けるべき存在へと変じました。教科書に載らない当道座と盲官の史実については、今やすっかり忘却の淵に沈んでいます。しかし、盲人たちが守り育んできた伝統の痕跡は、現在、ここ東北ならではの文化として確認できます。死者が憑依すると聞いて真っ先に思い浮かぶ「恐山のイタコ」といえば、やはり盲目の女性たちです。そして、今や全国に愛好者をもつ「津軽三味線」は、北日本の各地を流浪した盲人芸能者たちが奏でてきた音楽を、津軽出身でやはり視覚に障がいのあった高橋竹山(一九一〇〜一九九八)が磨きあげ、大成したものでした。彼らが発する声と音、そして音楽には、常人には決して出せない独特の凄みがあります。

中央から押し寄せる近代化の波が及びにくい国家の東北辺境の地だからこそ、こうした過去の記憶の一部が消え残ったといえるのです。(了)

※三号にわたっておつきあいをいただき、どうも、ありがとうございます。



出羽三山地図

### 連載

## 出羽三山修験道について① 出羽三山とはどういう所か？ そもそも修験道とは何か？

### いまなぜ出羽三山を 取り上げるか

ずっと以前から、出羽三山にはぜひ参拝したいと思っていた。  
出羽三山とは、いうまでもなく、山形県にある羽黒山、湯殿山、月山の三山である。(地図参照)  
理由はいくつかある。  
まず、第一には、新宗教ないし新文化として渡来した仏教が、もともと日本に

古い時代からあった山岳信仰を取り込んで合体させて修験道(しゅげんどう)を形成していったが、その修験道の東北の一大拠点がどんなものか実際に見てみたいということがあった。  
次に、東北には、出羽三山との深い関係がある古いお寺がたくさんあり、どのような関係があったのかを知りたかったし、その本山に参拝せずに議論しても片手落ちと考えていたことが

ある。  
三つ目は、東北古代の民衆文化には、この修験道に深く影響されたものがあり、例え、いまも東北各地に残る郷土芸能のルーツは、ほとんどが出羽三山であり、その本山にはどんなものが残されているのか知りたいということがあった。

最後に、平安初期に、アテルイに代表される蝦夷(えみし)勢力が大和政権による度重なる侵略により、打ち滅ぼされてしまったが、その際に、この修験道が陰で影響を与えたのではないかと、この話もあり、その真実を追求してみたいということがあった。

### 修験道とは

修験道とは、日本各地の霊山と呼ばれる山々を踏破し、懺悔などの厳しい艱難苦行を行なって、山岳が持つ自然の霊力を身に付け、厳しい修行を行うことにより悟りを得ることを目的とする日本の古くからの山岳信仰が仏教に取り入れられた日本独特の混淆宗教であると言える。

もともと修験道に先立ち、日本には「古神道」というものが存在していたとされるが、その「古神道」は、森羅万象に命や神霊が宿るとして、**神奈備(かむなび)**や**磐座(いわくら)**を信仰の対象としていた。そうした信仰を包括する山岳信仰と仏教が習合し、さらには密教などの要素も

加味されて確立した日本独特の宗教が修験道であるとも言える。  
開祖は、役小角(えんのおづの)おづぬ/おづの)で、舒明天皇6年(634年)に誕生し、大宝元年6月7日(701年7月16日)に亡くなったと伝えられていて、さまざまな伝説も多い人物であるが、飛鳥時代から奈良時代にかけての実在の呪術者である。

**神奈備(かむなび)とは**...  
神道において、神霊(神や御霊)が宿る御霊代(みたましろ)・依り代(よりしろ)を擁した領域のことを**磐座(いわくら)とは**...  
古神道における岩に対する信仰のこと。あるいは、信仰の対象となる岩そのものこと。

### 修験者または山伏

修験道の実践者は、修験者または山伏といい、頭に頭巾(とぎん)と呼ばれる多角形の小さな帽子のような物を付け、手には錫杖(しゃくじょう)と呼ばれる金属製の杖を持つ。また、袈裟と、篠懸(すずかけ)という麻の法衣を身にまとう独特の装束を身にまとい、互いの連絡や合図のためにホラ貝を吹く姿が特徴的である。

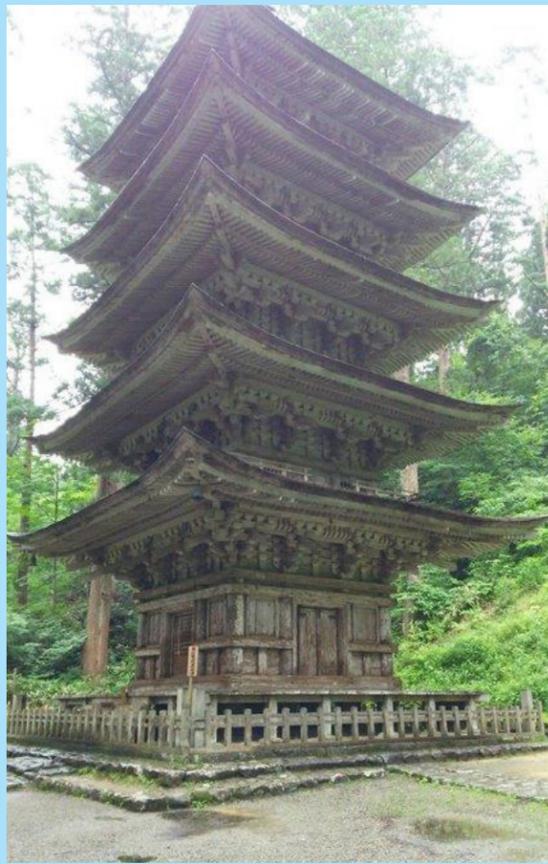
山岳信仰の対象となる山岳のほとんどは、一般の人々の日常生活からはかけ離れた「他界」に属するものであり、山伏たちは山岳



工事中の出羽神社(三神合祭殿)



あちこちに雪が残る月山からの眺め



羽黒山 五重塔

という他界に住んで山の霊力を体に吸収し、他界や現界をつなぐ者としての自己を引き上げて、それらの霊力を人々に授ける存在とされてきた。  
現代の山伏は、神仏習合の影響が強く残る神社仏閣に所属する僧侶や神職になることが多いほか、普段は社会人として働く在家の信者が、「講」を組織して修行の時だけ山伏となることも多いようである。

の本宮・新宮・那智の3社への信仰(熊野信仰)は、平安時代の中期から後期にかけて、天皇をはじめとする多くの貴族たちの参詣を得て、隆盛を極めたようだが、一方、出羽三山は、出羽三山神社の社伝によれば、崇峻天皇の皇子、蜂子皇子(欽明天皇23年? (562年?) - 舒明天皇13年10月20日? (641年11月28日?))が開山したと伝えられる。崇峻天皇が蘇我氏に弑逆された時、蜂子皇子は難を逃れて出羽国に入った。そ

こで、3本足の霊鳥の導きによって羽黒山に登り、苦行の末に羽黒権現の示現を拝し、さらに月山・湯殿山も開いて三山の神を祀ったことに始まると伝えられている。

**【最終回】**  
**自己肯定感という大きな課題**  
 里親養育の中から  
 あるべき家庭教育の姿を垣間見る  
**「子どもの村東北」村長が語る その⑤**

**「子どもの村東北」村長**

今野和則氏



前宮城県立石巻支援学校校長。宮城県行政職を経て公立小学校教員。宮城県教育庁特別支援教育室長補佐、気仙沼支援学校校長、宮城教育大学付属特別支援学校副校長を歴任。東北福祉大学で後進を指導中。石巻市出身。

経験のある子どもが多いです。そして、そのうち多数が、「親から暴力を受けたのは、自分が悪いからで、親は悪くない」と考えていると言われます。

親を失ったり、親と暮らせない、そのことだけでも大きな重荷を背負っている子どもたちが、さらに自分を責めているという構図。想像するだけで、せつなくなります。

**気持ちを汲む**

そんな子どもたちの日常の中で、特に子どもに声掛けする時に私たちが大切にしていくことのひとつが「気持ちを汲む」ということです。

人間の行動を大きく「感情」と「行動」に分け、出来るだけそれを区分けて、混同しないことに努めます。

**里親養育の特徴**

「里親養育とは、家庭という私的な場に、子どもを迎え入れる公的な営みであり、社会的養育である(横堀昌子氏2013年)」という定義があります。

また、里親養育とは、「ごく当たり前の家庭生活」に専門性が必要とされません。この専門性について

**SOSを出す力**

(2)子どもの養育について理解する

(1)里子特有の特徴を理解して養育すること

(2)話を聴いて気持ちを汲む(感情を大切に)

(3)自尊心(自己肯定感)を育てる養育

(4)しつけのポイントをおさえる

(3)里親自身の心の健康に留意する

が、挙げられます。

**里子特有の特徴**

自分が子育てに困った時、まわりの人や専門機関に、助けて欲しいと願ひ出される力。このことがSOSを出す力ということになります。

通常の子育てでも同様のことが大切にされる必要がありますが、里子という課題のある子どもを育てる場合、親から虐待を受けた

「SOS子どもの村」では、「家庭教育」と言っており、庄司順一氏は、SOSを出す力と定義しています(2010年)。

さらに里親養育の基本的な専門性を詳しく見ていくと、

(1)社会的養護の基本を理解する

「子どもの中の、多くの割合で、親から虐待を受けた

ては、一緒に考えて行こうと語りかけることになりま

す。そこにも、少々のコツがあるようです。

例えば子どもを叱るときに、「何でお前は遅刻したんだ」ではなく、「私はお前がなかなか来なかったから心配したんだよ」と話します。これは、「ユー(You)メッセージ」ではなく、「アイ(I)メッセージ」を使うということ。さらに「廊下を走るな」ではなく、「廊下は静かに歩きましょう」という、肯定語を使うということ。そして、褒められる体験を増やすこと。究極の褒め言葉のひとつが、後で出てくる「ありがとう」という言葉でしょうか。

さて、里子の特徴の中で、私が強く印象に残るのは、「自分を責めている」ということです。

震災で生き残った子どもたちの中に、「私を助けるために親や家族が犠牲になった」と考えている子は決して少なくないと言われますし、直接そのような言葉を聞いたこともあります。

里子の中には、多くの割合で、親から虐待を受けた

**自己肯定感を育てよう**

すでにお話をしたように、「子どもの村東北」には、開村以来、すでに二千名を超える見学者が訪れていきます。その方々に時間が許せば、これまでこの新聞上でお知らせしたような事柄を説明します。

その際の締めくくりのお話を、「自己肯定感」ということにごさせてください。

使った資料が、「高校生の心と体の健康に関する調査報告書」です。多くの方々が、日本の子どもたちの「自己肯定感」の低さに驚かれます。

**究極のメッセージ**

里子たちが自己肯定感を育てるために、私たちが心がけていることが大きく五つあります。

①大切にされた経験

②そのままの姿を受けとめられた経験

③ほめてもらった経験

④安定したリズムでの規則正しい生活、同じリズムの繰り返しの大切さ

⑤自他を大切に思える環境

「お前は、我が家の誇りである」と褒められて育ちます。日本の子どもたちは、「お前は橋の下から拾ってきた」と言われて育ちます。そんな話題を話すと、来村者は苦笑します。そもそも昔の日本には、自分の子どもが丈夫に育ってほしいという願いを込めて、親が一旦橋の下や川辺に子どもを置いて、近所の人に拾ってきてもらうという儀式があったようですが、現代では本来の意味が忘れ去られてしまったようです。このことが、日本の子どもたちの自己肯定感に直接結びついているわけはありませんが、この自己肯定感を育てる養育が、里子養育だけの課題ではないことは明らかです。

「こと・ふつうのこと」に対する感謝と称賛」という一語がありました。

『日常生活の中で、子どもたちは筆者に対してでも挨拶をしてくれる。そういう時には挨拶を交わした後に「元気をもらったよ、ありがとう」といった言葉で子どもの挨拶に対して感謝し、称賛するようにしている。また、子どもたちは毎日掃除をしてくれるのであるが、その後には「きれいになったね、ありがとう。今日も気持ちよく生活できるね」といった感謝と賞賛をするようにしている。』

あたりまえのこと、ふつうのことを大事にし、それに感謝と称賛で応えていく。出来る所で、ところが難しい。上記の自己肯定感を育てるための五つの心がけが、まさに集約されたような相澤先生の何気ない日常の指導に感銘を覚えるところだと思います。

そして、そのベースにある子どもたちへの究極のメッセージは、「あなたの存在はかけがえないもの」であることを伝えること。

**負の財産を復興の礎に**

里子をはじめ、社会的養護という重い課題を担う子どもたちの「自己肯定感」を育てることが出来たならば、それは通常の子どもの自己肯定感の育成に使えないスキルとなるのではないかと私たちは考えます。その一環として、5月から6月にかけて、「ACTすこやか子育て講座」を毎週1回2時間7回シリーズで開催しました。この講座は、アメリカ心理学会(APA)が長期にわたる調査をもとに開発した、暴力・虐待防止

の意図をこめた子育て支援講座を、日本の子育てに合うように改変したものです。村のスタッフのみならず、地域の里親や一般の母親にも参加いただきました。

秋には、英国の「里親のためのハンドブック」の学習会も計画しています。

私たちの行っている東日本大震災で家族を失った子どもたちをメインとした里親養育が、多くの里親や一般の家庭教育でもお役に立つことが出来るとすれば、それは負の財産をプラスの復興に変換させる事実になると信じて……。

**高校生の心と体の健康に関する調査報告書** (一ツ橋文芸教育振興会・日本青少年研究所)

問い	米国	中国	韓国	日本
価値ある人間だと思う	90%	88%	75%	36%
先生に優秀と認められている	82%	55%	40%	18%
努力すれば大体できる	89%	89%	84%	44%
できることはいっぱいある	90%	81%	70%	37%
自分が優秀だと思う	88%	67%	47%	15%



銀河高原ビール樽

今回で第21回目を迎えた三陸酒海鮮会渋谷開催は、久しぶりの18名という大人数の参加で、しかも若手の参加で大いに盛り上がりました。

また前号でも予告したように、東北の地酒だけでなく、東北地ビールのご提供をも、開催場所の焚火家さんに特別にお願いしていただきましたが、なんと、東北地ビールでは特に有名な「銀河高原ビール」の樽と「海

## ついに東北地ビール登場 銀河高原ビールと海鞘エールの2種 うまい東北地酒と三陸海鮮の会 第21回 三陸酒海鮮会の渋谷開催



東北地酒ラインアップ



海鞘エール

鞘エール」の小瓶を個人に一本ずつ、計2種類もご用意いただきました。参加者の評判はすこぶる良く、図々しくお願いしてほんとに良かったです。「銀河高原ビール」は、特に泡がクリーミーであり、これがビールなのかと思うほどのなめらかさであり、他方「海鞘エール」の方は、「ホヤ」が苦手な方もいて、おっかなびっくりで味見し



参加者の一部

ていただきましたが、とてもおいしいという評判をいただきました。地ビールがひと通り出回った後、ある参加者からは「日本酒は当然出るだろうね」という暖かい「ご催促」の言葉も頂戴いたしました。そんなことで、地ビールは出るは、地酒も出るは大変豪華な回となりましたし、東北地ビールのご紹介も出来てとても良かったのではないかと思います。

当然ながら、次回も地ビールをお願いしておりますので、どうぞふるってご参加いただきたいと思います。例年、夏場には参加者が減少する傾向がありますが、こうした新たな試みを取り入れることにより、時間経過とともに、忘れ去られて行きがちな東北復興支援の流れが順調に続いていくことを願うばかりです。



【イカと梅干しのさっぱり和え・・・完成】

### 第23回 水産業再興のための料理レシピ紹介

## 【イカと梅干しのさっぱり和え】

夏に梅干しがさっぱりとして、イカとよく合います。(松本談)



郷土料理愛好家  
松本由美子氏

### ー簡単レシピー

【材 料】 イカ 200g もやし 120g ベイリーフ(ミョウガ) 梅干し 2個  
正油 小1、砂糖 小2、サラダ油 小2、酢 大1 青しそ 3枚

### 【作り方】

- ①イカは輪切りにし、もやしをさっと茹でます。残り湯でイカを1分茹でます。
- ②梅干しを叩き、調味料と混ぜます。
- ③野菜、イカ、調味料を混ぜ合わせたら、青しそを千切って飾ります。ミョウガは千切りにして合わせます。

# 「東北端っこツアー」 のススメ

東北は南北約530km、東西は最大約180kmに及ぶ広大な地域である。南北に長いことから、東北の南端に近い福島県いわき市の小名浜では桜の開花が平年値で4月6日なのに対し、北端の手前である青森県むつ市では平年値が4月29日と、桜前線が東北を縦断するのには1か月近い期間を要する。

日本の東西南北端の場所は有名で、最東端は南鳥島、最西端は与那国島、最南端は沖ノ島、最北端は択捉島のカモイワツカ岬である。これに対して、各地方の東西南北端は聞かれてすぐに答えられる人はほとんどいないに違いない。こと東北に関して言えば、最北端の北に北半島・大間崎は有名である。大間崎は東北の最北端というだけでなく、本州の最北端でもあることからある程度知名度があるのかもしれない。しかし、東

北の最東端である岩手県宮古市の鮭ヶ崎(とどがさき)も本州の最東端であるにも関わらず、知名度は今ひとつである。最南端や最西端に至っては恐らくほとんどの人が知らないに違いない。そこで今回は東北の「端っこ」を紹介してみたい。

## 最北端・大間崎

大間崎は、青森県の北東、マサカリのような形をした北半島の最北端にある。大間崎を抱える大間町は、マグロの一本釣りである有名な漁業の町である。大間のマグロは東京・築地のセリで高値がつくことでもよく知られる。地図をよく見ると分かることだが、北海道の最南端よりも大間崎の方が北に位置している。もちろん、れ

っきとした東北の一部なのだが、北半島で見られる



**執筆者紹介**  
大友浩平  
(おおともこうへい)  
奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。  
「東北ブログ」  
<http://blog.livedoor.jp/anagmas/>

Facebook  
<https://www.facebook.com/kouhei.otomo>

景色は東北の他の地域とは明らかに異なる。北海道にも通じるような雄大さとおおらかさを兼ね備えたような景色である。なにせ県庁所在地の青森市から北半島の中心都市むつ市までは約100kmもある。同じ青森県内でも、津軽や三八上北とも違う、下北ならではの風景がここにはある。

むつ市郊外には恐らく下北半島で最も有名と思われる、日本三大霊山、日本三大地獄の一つ、恐山(おそれざん)がある。火山ガスが噴き出す荒涼とした風景がまさに地獄を彷彿とさせ、おどろおどろしいイメージがたまらぬ。境内には「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」がある。境内には「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」がある。境内には「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」がある。

のがある。それは大間町で肥育されている大間牛のことで、これがまた大間の本マグロにも負けない最高等級の牛肉なのである。ちなみに、おおも温泉海峽保養センターでは大間マグロとこの陸マガロの食べ比べコースもある。

大間町には以前紹介したことがあるが、本州最北端の地ビールがある。梅香山崇徳寺(ばいこうざんしゅうとくじ)という江戸時代から続くお寺がつくる、全国でも恐らく唯一の地ビール「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」である。境内には「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」がある。

大間町には以前紹介したことがあるが、本州最北端の地ビールがある。梅香山崇徳寺(ばいこうざんしゅうとくじ)という江戸時代から続くお寺がつくる、全国でも恐らく唯一の地ビール「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」である。

大間町には以前紹介したことがあるが、本州最北端の地ビールがある。梅香山崇徳寺(ばいこうざんしゅうとくじ)という江戸時代から続くお寺がつくる、全国でも恐らく唯一の地ビール「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」である。

大間町には以前紹介したことがあるが、本州最北端の地ビールがある。梅香山崇徳寺(ばいこうざんしゅうとくじ)という江戸時代から続くお寺がつくる、全国でも恐らく唯一の地ビール「毘沙門(びしゃもん)の地蔵」である。

連載  
むかしばなし



第三十八話  
伝説の鎧の男

大天狗の森の前に横たわる大峽谷に、今や無数の鳥の群れが飛び交っていた。「大天狗め・我らを牽制するつもりか。」

鳥どものうち少なからぬ個体が、崖の上に集結した頼朝の兵たちへ飛びかかって脅しをかけ、中には突撃し傷さえ負わせていくものもいる。

「打ち落しますか？」  
葛西清重の質しに、頼朝は少し考えてから答えた。「まずは無闇に殺すな。叩き追ひ払いに留めよ。」

それにしても凄まじい数の世の場所にあらず。「真の敵は泰衡か、それとも大天狗か？ いずれをも倒さねば、この地の征服は果たされそうにないな。」



奥羽越現像氏紹介

一九七〇年山形県鶴岡市生。札幌、東京を経て、仙台に移住。市内のケルト音楽サークルに所属し、あちこち出沒し演奏する。フィドル(ヴァイオリン)担当

だ。空が鳥で真つ黒になりそうな程である。その時、梶原景季が腕をまっすぐに対岸へ伸ばした。「向かがおります。向かいの崖の上に。」

「詳細がわかるか。」  
「はつきり顔が見えませう。若輩です。某の目を見ています。だが装束は、山伏のよう、だが尋常な彩色ではありません。」

「山の主・天狗、いや大天狗か。この鳥どもを統べる力・間違いないな。」  
案内の老人が進言する。「この峽谷は越えられませぬ。向かい側は彼岸・この世の場所にあらず。」

「奥州には二つの国境がある。西行殿が言っていたな、護法よ。一つは昨日越えてきた白河の関、もう一つが平泉の関山・だが伊達の小次郎はその中間にまた一つ、第三の国境を置いた訳か。・。さても見事な大要害な、護法よ。」

「もう夜が来る。平地へ戻ろう。鳥兎森へ出向いた隊にも知らせよ。」  
「これが伊達の阿津賀志山か。やれやれ、頼朝の鳥合の軍団め。奴らが通った後は草も生えんな。」  
「異国」の軍隊が北上し通

つまりは一瞬のうちに遠方まで到達できる魔窟というものが、奥州にはあるとの話だったのだが、そう易々と異国の門外が見つけ出せる代物でもあるまい。それでも驚くべき健脚の徒どもは、忽ちのうちに白石の地へ達した。

「案ずるな！ ころ一帯はこの俺、足利又太郎忠綱が貰い受けてやるからな！」

目覚めると、そこは昭和三年の花巻ではないが、文治五年の宮城野などでもなく、まして異音の響く金属でできた「宇宙船」の中でもなかった。

「はあ・おかしな夢を見た。」  
賢治は身体を起こした。見知らぬこざっぱりした洋室で、どこか都会の宿・ホテルといった所らしい。はて、どこを旅行中だったかな・？ 昨夜は記憶が飛ぶくらい、酒を飲んだりしただろうか。飾り気のない機能的なベッド、美しい壁に額の西洋絵画・狭いけれど見事な設備だ。

どこからか、矢が飛んできた。四方八方から、狙っているらしい・。これ程やられた後なのに、なかなか気骨のある風土だな。

「無駄だ。この甲冑、目に入らねえか。これ即ち、我が祖・藤原秀郷公が龍王より賜りし避来矢が鎧ぞ。」  
その威厳ある声は轟き渡り、降りかかる矢は夕立のように静まった。

「もう日も暮れる・。メシを分けてたもうせ。」  
周囲から、秀郷だと？ ひらいしだと？ とひそひそ言い合う声が聞こえてくる。

「案ずるな！ ころ一帯はこの俺、足利又太郎忠綱が貰い受けてやるからな！」

賢治は身体を起こした。見知らぬこざっぱりした洋室で、どこか都会の宿・ホテルといった所らしい。はて、どこを旅行中だったかな・？ 昨夜は記憶が飛ぶくらい、酒を飲んだりしただろうか。飾り気のない機能的なベッド、美しい壁に額の西洋絵画・狭いけれど見事な設備だ。

「あ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」  
「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「何も、終わっていない。」  
賢治はホテルの外へ飛び出した。駐車場には見た事もない流線型を持つ自動車が見え、道路が見え、早足で進むと、ホテルの看板があつて、そこに

「何の何の・。榴ヶ岡の桜ご覧になりましたか、賢治さん。」  
背後からまた違う声が出たので振り向くと、これも知った顔である。

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」  
片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「何の何の・。榴ヶ岡の桜ご覧になりましたか、賢治さん。」

背後からまた違う声が出たので振り向くと、これも知った顔である。

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」  
片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「あれ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」  
「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「何も、終わっていない。」  
賢治はホテルの外へ飛び出した。駐車場には見た事もない流線型を持つ自動車が見え、道路が見え、早足で進むと、ホテルの看板があつて、そこに

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」  
片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」

片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「あれ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」  
「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「何も、終わっていない。」  
賢治はホテルの外へ飛び出した。駐車場には見た事もない流線型を持つ自動車が見え、道路が見え、早足で進むと、ホテルの看板があつて、そこに

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」  
片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「あれ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」  
「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「あれ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」

「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「何も、終わっていない。」  
賢治はホテルの外へ飛び出した。駐車場には見た事もない流線型を持つ自動車が見え、道路が見え、早足で進むと、ホテルの看板があつて、そこに

「あれ、貴方は・。石川善助さんですね、お久しぶり！」  
片足を引きずった、細面の魂熱き青年詩人。  
「また逢えましたね・。芭蕉の辻で。」  
旅僧が言うと、詩人はやんわりと否定する。

「あれ、皆さんのお姿が見えなくなっています。」  
「いけません、宮澤さん。」  
「そうです、賢治さん。そうですね、わしが仙台最高の珈琲をご馳走差し上げ。」

「何も、終わっていない。」  
賢治はホテルの外へ飛び出した。駐車場には見た事もない流線型を持つ自動車が見え、道路が見え、早足で進むと、ホテルの看板があつて、そこに

仕掛け、その性質と器を見定めたものよ。」

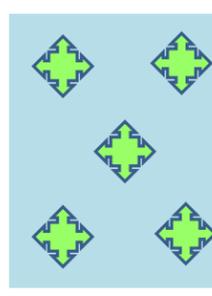
「そんな、何故平泉は九郎さまを招き入れられたのですか。」

「男たるもの、その申し出は喜びますまい。」  
不安定ながら堂々たる歩みを見せるその後姿を、一同はしばし眺めた。その彼らを見つめているのだった。

「雨は小降りになつてきていた。しかし榴ヶ岡から芭蕉の辻に当たる二地点は結構な距離だ。一面原野と湿地の上、この暗闇の中を行くのは元々病弱な娘と片足の悪い青年にとつて楽しい道中ではないはずだった。」

「また義経の話の腰を折りおつてからに、とお憤りの皆様何卒気長にお待ち下さい。次回、足利又太郎の独り言癖が輝きを増す!？」

「牛若・遮那王は才気漲る少年でな。鞍馬の夜、森へ誘い出して剣術や忍術を



シリーズ 遠野の自然  
「遠野の小暑」  
遠野 1000 景より

二十四節季では、七月七日ごろは「小暑」です。暑さが本格的になるころのことをいいます

六月二十一日の夏至を過ぎて、七月の二十二日に迎える大暑の真ん中の節季であり、また、暑中見舞いは小暑から立秋までに出すものとされています。

五月、六月と二カ月に亘り、たくさんの花を取り上げてきた遠野の自然でしたが、今回は趣向を変えて樹木や祭り、動物や風景も

取り込んでみました。

やはり遠野といえば「祭」です。「小さなお祭り」は、大きな祭りとは異なり、村の小さな森で開く秘密めいている集まりであり、謎めいていて、子ども時代のわくわくした探検を思い出させます。

事です。ささくれだったよなむき出しの木肌が、ものすごい樹齢と歴史を感じさせます。地元の人の話としては、以前落雷で幹が割れたそう、凸凹の木肌はその名残だそう。それにしても、圧倒的な存在感のあるご神木です。

走っているのが見えます。馬の疾走する姿が小さくて見にくいですが、SL銀河の窓からはさぞやパワフルな併走が見えたことでしょう。「ニッコウキスゲ」。筆者は先日、山形の月山で、突然の悪天候で遭難しかけたつ、大風に揺れるニッコウキスゲを何度も見ました。あの光景は決して忘れな

いでしよう。「薬師岳落陽」。夕暮れの空気に夏の気配を感じます。「まがって見る」。あー懐かしい言葉。「まがって見る」は「覗いて見る」ということです。むかし、じいさん、ばあさんがしゃべっていたのを思い出します。子どもなら、こうした光景に出くわせば、中に何か

いるかもしれないとドキドキしながら、必ず中を覗いて見たものです。「アカゲラ」がこんなに鮮明に写っているのは貴重なんだと思います。くちばしで木をつつく音が聞こえてきそうです。最後は馬。牧草地で放牧された馬。ノビノビしています。



小さなお祭り



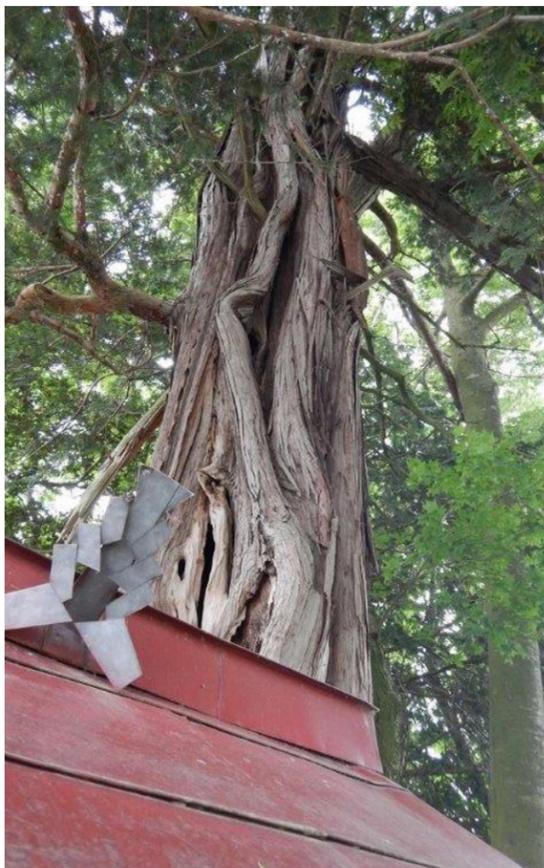
SL 銀河 (馬と併走) 荒谷前 岩手二日町間



ニッコウキスゲ



薬師岳落陽



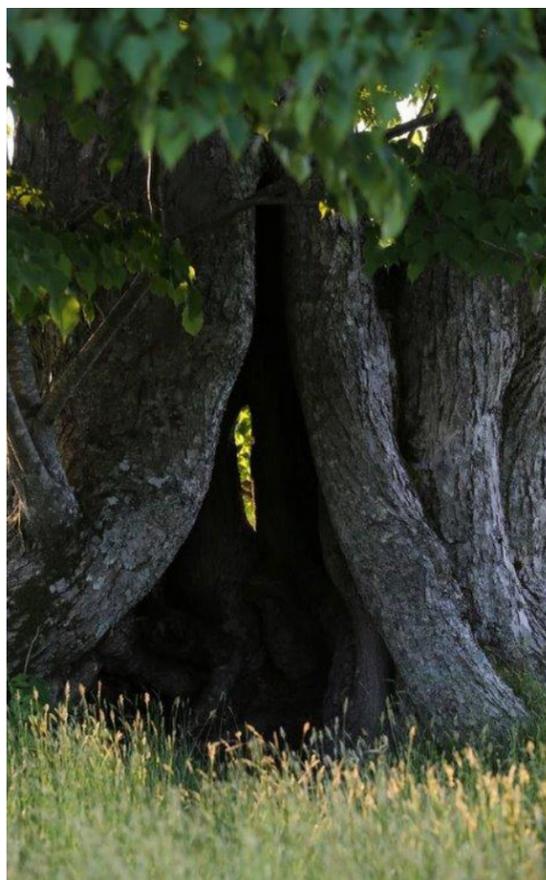
ご神木



馬



アカゲラ



まがって見る

## 第49号 ネットアンケート集計結果

### 【もうかる東北水産業は実現できるか?】

NO.	質問と選択肢	回答数
①	住所	
	(1) 東北被災地	8
	(2) 被災地以外の東北	3
	(3) 東北以外	6
②	性別	
	(1) 男性	15
	(2) 女性	2
③	年齢	
	(1) 20歳未満	0
	(2) 20歳以上40歳未満	2
	(3) 40歳以上60歳未満	9
	(4) 60歳以上	6
④	東北水産業に企業参入を認めるか?	
	(1) 認めてもいい	13
	(2) 認めるべきではない	1
	(3) 何ともいえない	2
	(4) いずれでもない	1
⑤	東北に漁業後継者は増えるか?	
	(1) 増えると思う	3
	(2) 増えないと思う	9
	(3) 何ともいえない	5
	(4) いずれでもない	0
⑥	東北漁業従事者年収が600万円以上になったら?	
	(1) 漁業従事者になりたい	4
	(2) 漁業従事者になりたいと思わない	6
	(3) 何ともいえない	5
	(4) いずれでもない	2
⑦	北欧漁業を東北漁業改革モデルにすることについて	
	(1) 賛成	3
	(2) 冷静に分析してから判断すべき	11
	(3) 反対	2
	(4) いずれでもない	1
⑧	店に並ぶ魚の種類がもっと増えたらどうする?	
	(1) どんどん買って食べたい	8
	(2) 料理方法が分からないと買わない	4
	(3) 今と変わらない	5
	(4) いずれでもない	0
⑨	縄文時代にどんな魚を食べていたか?	
	(1) ある程度知っている	8
	(2) まったく知らない	7
	(3) 興味がない	1
	(4) いずれでもない	1
⑩	もうかる東北水産業は実現できるか?	
	(1) 困難を克服して実現可能	12
	(2) やはりむずかしい	1
	(3) 何ともいえない	4
	(4) いずれでもない	0



#### 東北水産業に企業参入を認めてもいい!?

今回は「もうかる東北水産業は実現できるか?」であった。東北水産業の行く末について様々な議論がなされてきたが、こうした質問の方が端的でいいのではないか? 回答者数は十七名。

④「東北水産業に企業参入を認めるか?」は「認めてもいい」が約76.5%で圧倒的。もっと保守的な回答かと思っただけ、結果には少々驚いた。

⑤「東北に漁業後継者は増えるか?」は、予想通り「増えない」が約52.9%。

⑥「東北漁業従事者年収が600万円以上になったら?」は、「漁業従事者になりたいと思わない」が約35.2%で、「なりたいた」の約23.5%をリードした。何故理由なのか追求してみた。

⑦「北欧漁業を東北漁業改革モデルにすることについて」は、「冷静に分析してから判断すべき」が大きくリードし約64.7%。冷静な判断である。

⑧「店に並ぶ魚の種類がもっと増えたらどうする?」は、やはり「どんどん買って食べたい」が約47.1%。

⑨「縄文時代にどんな魚を食べていたか?」は、予想外で「ある程度知っている」が約47.1%。

⑩最終的に「もうかる東北水産業は実現できるか?」は「困難を克服して実現可能」が最多で約70.6%。

#### 編集後記

今回の区切り目の五十号だった。よく何とかここまで来たという感じであり、たまにバックナンバー全部を振り返る時、企画編集当時の状況を一部忘れていた号も出てきている。

発刊から四年以上も経てば、忘却の彼方に忘れ去られる号が出てきても当然である。

しかし、何事もまずは最初の一步からとはよく言ったもので、一步一步の積み重ねでここまで来れた。多くの読者の方々、無償でご寄稿いただいた方々にあらためて感謝申し上げます。

さて、二面にも書いたように、今月初め、山形の月山に登った。山登りは一步一步地面を踏みしめて登る。筆者は還暦を過ぎてから始めたこともあり、山登りの一步一步が、人生の一步一步に感じられる。特に初心者的一步は、歩幅も小さく、これから先の後半生の歩みにおいても、慎重に小さな一歩を進めなければならぬと思う。そのプロセスを継続して初めて山の頂上に至る。

また、後半生でのライフワークにもそれなりの足跡を残すことができるというものだ。まさに一步にはじまり一步に終わる、である。

#### 「東北を世界に!」プロジェクト募集

- プロジェクト募集要領
- ① 東北の復興、活性化、再興を目的としたプロジェクト企画であれば、何でも可
- ② 応募資格は特に定めず、被災地、被災地以外の居住も問わず、国籍・年齢・性別を問わず
- ③ 企画書のようなものがあれば可---形式自由(プロジェクト名、プロジェクト期間、目的、どうやって実現するかの手段、仲間などを明記していただきたいと思ひます)
- ④ 〆切はとくに設けません

#### 「東北を世界に!」プロジェクト募集

- 連絡先/企画提出先  
(郵送) 〒207-0005 東京都東大和市高木3-315-1 ホームタウン宮前2-2 電子タプロイド新聞【東北復興】宛
- (メール) yumuyu@wj8.so-net.ne.jp
- ご提案いただいた企画については、当新聞で責任をもって検討させていただいた上で、企画開始に向けてのしかるべき方法・手段をご提案するなり、企画実現のための仲間を募ってまいりたいと考えております。また、当新聞でご紹介させていただきたいと思ひます。(氏名公表か非公表かはご相談)
- たくさんのご提案をお待ちしています